

クローズアップ定例委員会

朝日・高根地域における義務教育学校への移行

～未来への投資として「こどもファースト」の学びの環境づくり～

朝日小学校・中学校は、これまでも大自然に恵まれた地域に根ざし「地域とともにある学校」として愛されてきましたが、令和10年4月に義務教育学校として開校します。

現在、地域と連携しながら、小学校と中学校9年間の系統的な教育課程の検討や組織づくり、環境整備などに向けて準備が進められています。

整備方針

- ・朝日小学校の既存校舎の一部を後期課程で必要となる特別教室などに改修
- ・南側に木造の校舎を増築し、複式学級に対応した教室を整備
- ・既存校舎のトイレ改修、照明のLED化、バリアフリー化の実施
- ・小学校を使用しながら工事を実施（居ながら施工）
- ・事業費：約11億円（国庫補助を見込む）



イメージパース：内観



外観

スケジュール

R 8 年 6月～	トイレ改修・照明のLED化・バリアフリー化工事
9月～	本体工事（増築・既設校舎改修等）
R10年 4月	義務教育学校の開校
4月～	外構工事
5月～	グラウンド管理棟解体工事

議会の視点

福祉文教委員会では、令和7年1月に義務教育学校に移行すること、令和8年1月に上記の整備方針・スケジュールが、市から示され協議してきました。

今後、特色ある教育課程なども示されてくることから、下記の視点で調査・研究・審査などを進めていきます。

- ・「通いたい」「通わせたい」と感じる魅力ある学校づくりの全体構想
- ・地域外からの通学を認める「特認校」の検討
- ・小中学校の教職員の連携・交流
- ・郷土学習のほか特色あるカリキュラムの構築
- ・少人数の強みを生かした、きめ細やかな指導・支援
- ・縦割り清掃や給食などから育まれる児童生徒の絆
- ・学校行事や地域部活動などの進め方
- ・地域コミュニケーションの拠点としての学校
- ・地域からの意見の反映
- ・工事中の児童生徒の安全と学習への影響